

地域理解・交流事業「宿泊研修」日程決定(平成31年3月18日～19日開

催)
2019年2月28日

地域理解・交流事業「宿泊研修」日程

～高島市方面の医療と歴史・文化を学ぶ～

●3月18日(月)1日目

滋賀医科大学(出発)<8:30>

↓

特別養護老人ホーム清風荘(説明・研修)<10:30～11:30>

↓

今津サンブリッジホテル(昼食)<11:45～12:45>

↓

今津病院(説明・研修)<13:00～14:00>

↓

マキノ病院(説明・研修)<14:30～15:30>

↓

メタセコイア並木(見学)<15:40～16:00>

↓

17:30～18:30 交流会<第1部>講演/意見交換等

・「湖西地域の医療福祉の現状と課題(仮題)」

高島市健康福祉部健康推進課 課長 青谷 光恵 氏

・「高島市民病院の産科医療、高島地域の産科医療(仮題)」

高島市民病院 3階東病棟 看護師長 岡田 裕子 氏

18:45～20:45 交流会<第2部>学生報告会/懇談/会食

20:45～ 学生交流会

●3月19日(火)2日目

今津サンブリッジホテル(出発)<9:00>

↓

琵琶湖周航の歌資料館(見学)<9:10～9:30>

↓

藤樹書院跡(見学)<9:50～10:40>

↓

特別養護老人ホームふじの里(説明・見学)<10:50～11:50>

↓

道の駅藤樹の里あどがわ(昼食)<12:00～12:50>

↓

高島市民病院朽木診療所(説明・見学)<13:30～14:30>

↓

高島市民病院(説明・見学)〈15:15～16:15〉



道の駅妹子の郷(休憩)〈16:45～17:00〉



滋賀医科大学(解散)〈18:00頃〉



瀬田駅(希望者ありの場合)

滋賀医科大学『地域「里親」学生支援事業』記念シンポジウムを開催しま

2019年2月26日

した

里親学生支援室では、2019年2月10日(日)に『地域「里親」学生支援事業』の10年を振り返り、今後の滋賀県の医療の担い手である医師・看護師育成の取り組みを展望するために、本学及び認定NPO法人滋賀医療人育成協力機構が共催し、シンポジウムを開催しました。

学長の挨拶、埜田室長による事業報告の後、各方面からお招きしたシンポジストの方々に、短い時間ではありましたがそれぞれのお立場からテーマに沿った形で、現状の報告や今後の方向性などスライドを交えてご講演いただきました。



滋賀県健康医療福祉部 理事 角野 文彦 氏からは、行政の立場から滋賀県における安定した医師確保システム、働きたいと思える魅力ある病院づくり、女性医師の働きやすい環境づくりなどについてお話いただきました。



滋賀県医師会 理事 木築 野百合 氏からは、県内の医師の偏在の実情をご説明いただき、また女性医師の重要性や働き方改革、災害時の滋賀県独自の医療体制の必要性についてもお話いただきました。



滋賀県病院協会 監事 楠井 隆 氏からは、深刻な県内の医師・看護師の地域偏在の実情を、具体的に表やグラフを使ってご説明いただき、超高齢社会への対応や総合診療医の不足などについてお話いただきました。



滋賀県看護協会 会長 廣原 恵子 氏からは、看護師の実情と看護職が生涯を通して働き続けられるための環境作りの大切さなどについてお話しいただきました。



シンポジウム終了後には、懇親会を開催し、各医療関係者や行政・里親・プチ里親・里親登録学生などが交流し、今後の参考となるような貴重なご意見等をいただくなど、活発な意見交換の場となりました。

医療関係、行政、里親・プチ里親、各種団体の方など、約40名のご参加をいただき、大変有意義なシンポジウムとなりました。

お忙しい中ご参加いただきました皆さま、ありがとうございました。



マイク・フェターズ先生講演会「家庭医の基礎～全ての学生が知っておくべきこと～」が開催されました

2019年2月21日

2月15日（金）滋賀医科大学構内にて、米国ミシガン大学 家庭医療学科教授マイク・フェターズ先生をお迎えし、家庭医療講演会が開催されました。マイク先生は日本語が堪能で、医学生が知っておくべき家庭医の基礎について、米国における家庭医の役割や診療の様子を日米の違いも交え、日本語でお話いただきました。その後、約15名の参加者とのディスカッションが活発に行われ、大変盛り上がりました。

